

西洋古代文化史特講（8）

Xen. *Hell.* 5. 3.

[10]

他方プレイウース人のポリスは、アゲーシポリスに遠征軍への多額の資金を速やかに提供したことをアゲーシポリスから賛美され、アゲーシポリスが遠く離れているのにアゲーシラーオスが自分たちに向かって遠征することはあるまいと、二人の王が同時にスパルタから離れることはあるまいと信じて、大胆にも帰国した者たちに裁判を開かなかったのである。というのは亡命者たちは揉め事を公正な裁判で裁定するよう要求していたからである。それで彼らは自分たちのポリスで告訴するよう強制したのである。しかし帰国した者たちは不正を働いた者たちが自分で裁判を行うような所でこの裁判がどのようなものであるのかと申し立てて、耳を傾けなかった。

[11]

それで帰国者たちはポリスを非難すべくラケダイモンに赴き、本国から同行した者たちは市民の多くから受けてきたことが正義に悖ると申し述べたのである。プレイウース人はこれらの人々に立腹してポリスは彼らをポリスがラケダイモンに派遣したわけではないとして全員に処罰したのである。

[12]

処罰を受けた人々は帰国を躊躇って国外に離れ、踏み止まってこのような事を強制しよとする人たちは正に自分たちを追放しラケダイモンの人々を締め出し、自分たちの財産を購入し償いをさせないように圧力を掛け、将来誰もポリスの中で行われている事を敢えて明らかにしようとしないうちに、今自分たちをラケダイモンに来ているという事で処罰しようとしているのだと、説明したのであった。

[13]

エフォロイたちはプレイウース人が彼らに対して害を加えていると判断して宣戦を布告したのであった。他方アゲーシラーオスはその事に不快ではなかった。というのはポダメノス派の人々は彼の父アルキダーモスの賓客であり、その当時は帰国派であった。またヒッポニコスの子プロクレス派の人々は彼自身の（賓客であった）。

1) 本国の政権を掌握している人々は民主派とは呼ばれていないことに注意する必要がある。彼らは *οἱ βιαζόμενοι ταῦτα*（そのようなことを強要する人たち）と呼ばれてはいるが、民主派とは呼ばれていない。

2) *οἱ κατελθόντες*（帰国者たち）と呼ばれている人々はプレイウースの政治体制について苦情を申し立ててはいないことにも注意しておく必要がある。彼らは先の合意が守られていないことに苦情を申し立てているのだ。

3) スパルタがプレイウースに対して宣戦を布告した理由は *τῷ δ' ὄντι ὑβρίζειν*（彼らに対して危害を加えた）という事であり、合意を守らずにスパルタに訴え出た者たちを *ἐξημίωνε*

(処罰した) ことがその内容である。

4) スパルタ国内の党派の対立とプレイウース国内の党派の対立が連動している。プレイウースの政権派はアゲーシポリス王を頼りとし、帰国派の人々はアゲーシラーオスを頼りとしている。

5) スパルタに訴え出たポダメノス派は τῷ μὲν πατρὶ αὐτοῦ Ἀρχιδάμῳ ξένοι (アゲーシラーオスの父アルキダーモスの賓客) であり、プロクレス派は αὐτῷ (ξένοι) (アゲーシラーオスの賓客) である。

6) このような個人的な関係が ἦν δὲ οὐ τῷ Ἀγησιλάῳ ἀχθομένῳ (アゲーシラーオスにとっては不快ではなかった) 理由となっている。

7) このようなポリス間の公的關係と政治指導者間の私的な関係が錯綜している構造こそがスパルタの帝国支配の特徴であることを窺わせるものとなっている。

8) プレイウース国内の問題をスパルタの介入を誘って解決しようとする政治文化に注目する必要がある。スパルタの誰と繋がっているのかが同盟諸国の政治指導者にとって重要であり、常にスパルタ国内の政治状況に目を光らせておく必要があったとも考えられる。このような国境を越えた私的な関係は国内政治の主導権を握る、さらには政治的敵対派を排除する手段としても利用されていくのである。